

わおん

第62号

2021年10月発行

秋号

〒370-0016

群馬県高崎市矢島町449-2

駒井病院 地域連携室

TEL 027(352)6100

FAX 027(352)6217

「わおん」とは、いくつもの違う音が重なり、ひとつの美しい音を作る“和音”。
連携もこうありたいとの願いです。

病院長就任のご挨拶

医療法人社団 醫光会 駒井病院
院長 駒井 和子



猛暑の夏も過ぎ、季節の移ろいを感じる昨今です。日常も医療の現場も、コロナウイルスとの日々の戦いはまだまだ続きそうですが、多くの方々のご努力の元、少しずつ光も見え始めて参りました。

ご挨拶が遅れましたが、昨年9月より駒井病院長に再就任致しております。昭和60年より約15年間、同職を務めておりまして、その際は大変お世話になりました。今回もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

当院は、多くのご支援を頂きながら、本年5月に開院40周年を迎えることができました。少子高齢社会が進んでいく中で、当初より高齢者医療を一つの柱とした医療を目指して参りましたが、この間、高齢者を取り巻く社会の状況は予想を超えて変わり、それに対応して医療保険制度も、高齢者医療の形態も変遷の歴史を重ねてきました。当院もその変遷に応じて変化を致しましたが、開院以来変わることなく『やさしさに出会う医療を、やすらぎに出会う医療を、そして生きがいに出会う医療を』を病院の理念として、全職員と共有しつつ日々の医療を続けてまいりました。

高齢の方々には、多疾患がありで原疾患が治ってもADLが低下し易く、また認知症も含め精神疾患を有し易いなどの特性があり、医師、看護師、介護職の連携はもとより、リハビリ職、栄養士、そして生活支援に係る職種などとの共働が不可欠であります。皆様方のご指導を、ご支援を頂きながら、理念を傍らに職員一同、一丸となって今後も引きつづき地域医療に尽力いたしたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

副院長就任のご挨拶

医療法人社団 醫光会 駒井病院
副院長・透析センター長 平松 範行



2021年4月より副院長を拝命いたしました。透析センター長との兼任となります。

当院は、長年にわたって高齢者医療を一つの大きな柱にしてきましたので、近隣の医療機関や施設と連携を図りながら、ご高齢の方、日常生活動作の低下した方、認知症の方を中心に治療を行っております。当院には療養病床と包括病床があり、亜急性期から慢性期医療を担っておりますが、高齢者医療における様々なニーズに柔軟に対応できる体制を整えております。肺炎や骨折後、手術後などに廃用症候群が進行し自宅生活が困難となった方、食事摂取が難しく経管栄養や中心静脈栄養が必要な方、認知症が原因で治療拒否や不穏で対応が難しい方などを診る機会を多く得ております。透析医療、内科、精神科、整形外科、リハビリ、栄養管理、退院後の施設との連携、通院透析の送迎等、多職種で患者様を総合的にサポートしていく体制ができております。

これからも心のこもった質の高い医療・介護サービスを提供し、地域の皆様に愛される病院を目指し職員一丸となって努めて参ります。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

地域連携室 新体制 START!

地域医療への貢献、 各医療機関との円滑な連携を目指して

駒井病院の地域連携室は、入院から退院までの、一貫したトータルサポートの強化を目指し、新体制を整えました。地域医療への貢献や、各医療機関との円滑な連携を今後行ってまいります。退院後、患者様・ご家族様が安心して生活ができるように、入院中から機能分担を行い、多職種からのサポートが行えるよう支援していきます。

看護師



地域連携室 室長
岡本 世津子 (看護師)



入退院支援
掛水 厚子 (看護師)

平素より地域連携室に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年3月16日より地域連携室長を拝命いたしました。看護部長との兼任となります。また、8月より新たに入退院支援看護師を配置し、より一層スムーズな入退院を目指しております。今後、地域住民の方々が住み慣れた地域で療養生活を送れるよう、コロナ禍ではありますが、地域医療機関の皆さまと顔の見える関係を作り、切れ目のない受け入れ体制を強化し、円滑な連携を構築出来るように努めて参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

医療相談員



副主任
竹生 文子
(社会福祉士)



副主任
日野原 多位子
(社会福祉士)



中嶋 美香
(社会福祉士・
精神保健福祉士)

地域連携室に看護師がチームの一員として加わり、地域の方々からの医療に関わるご相談や、医療依存度の高い患者様のご相談にスムーズに対応できるようになりました。さらに入院から退院まで、患者様・ご家族様が安心して生活を送れるよう、多職種で多角的な視点からサポートしてまいります。

また、これまで通り相談員として、社会福祉の立場から患者様・ご家族様の抱える悩みや不安の解消に努め、ともに問題解決のサポートをして参ります。

駒井病院の地域連携室が新体制となり、さらなる医療連携の強化を目指し努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

医師就任のお知らせ

2021年9月より、中野 秀幸医師が就任いたしました。中野医師は、火曜と水曜の午前に外来を担当します。よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

平成6年に千葉大学医学部を卒業後、心臓外科医として従事しておりました。その後、平成20年より慢性期医療に携わっております。今年9月よりご縁あって駒井病院に勤務することになりました。

現在は、主に入院中の患者様の診療を行っておりますが、火曜日・水曜日の外来診療も担当しております。これまでの経験を活かしてこれからも患者様のお役に立てるよう努めていこうと思います。今後とも宜しくお願い致します。



医師 中野 秀幸

のぞいて見よう 駒井病院

院内研究発表会を行いました。

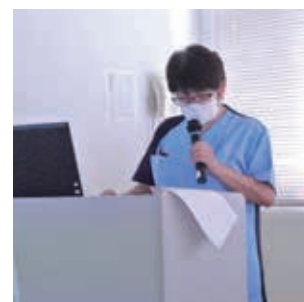
令和3年7月28日(水)・8月2日(月)～5日(木)の5日間に渡り、第6回駒井病院院内研究発表会を行いました。

例年は3月下旬にニューサンピアで開催される発表会ですが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、一回の参加人数の制限・開催時間の短縮・換気と消毒の徹底といった対策を講じ、駒井病院内での開催となりました。また、初回の発表をビデオ撮影し、二回目からはビデオ放映することで会場の密を防ぐことに配慮しました。

演題は例年の半分程度の4題でしたが、ケア方法の見直し・時間外労働削減への取り組み・他施設との連携と、どの部署もより良いサービスの提供、ケアの質向上を目指して日々努力し、取り組み後の成果が現れている様子が分かる発表でした。参加後のアンケートでは、「どの発表も興味深かった」「業務に生かせる内容だった」との感想が聞かれ、参加した職員にも多くの学びを得る機会となりました。形式を変えての開催でしたが、コロナ禍でオンライン研修が主体となっている中、直接発表する機会を持てたことは、発表者にとって貴重な経験になったと思います。

今後も職員一人ひとりが日々のケアを振り返り研究を重ね、より良い医療・介護を提供していけるよう努めてまいります。

総合教育委員会 委員長 狩野 京子(看護師)



一般外来

休診日…土日祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
内科	9:00～12:30 (受付12:00まで)	平松 檜原	中野	駒井 中野	佐野(敏)	加藤
整形外科	14:00～17:00	-	佐野(潔)	-	-	-

特殊外来<ご予約制> ☎ 027-352-6212(代)

休診日…土日祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
腎不全外来	15:00～17:30 (受付17:00まで) ※要予約	平松	平松	-	-	-
不眠症外来		山崎	駒井	山崎	駒井 山崎	山崎
精神科外来		山崎	駒井	山崎	駒井 山崎	山崎
物忘れ外来		山崎	駒井	山崎	駒井 山崎	山崎 檜原

透析センター

診療科	開始時間	月	火	水	木	金	土
外来透析	午前の部 9:00～	○	○	○	○	○	○
	午後の部 14:30～15:00	○	休	○	休	○	休

当院へお越しの皆様へ

感染防止にご協力をお願いいたします。

- 風邪症状や発熱のある方はご来院をご遠慮ください。
- 外来受診の際は、できるだけ少ない人数でお願いいたします。
- マスクを着用し、手指消毒を行ってください。
- 入口にて検温をお願いいたします。37.5℃以上の方はご入館をお断りさせていただく場合がございます。

地域連携室では、

入院・転院のご相談はもちろん、介護施設入所・各種制度ご利用などのご相談にもお乗りしています。どうぞお気軽にお問い合わせください。



地域連携室直通番号

☎ 027-352-6100

メールでのお問い合わせ ▶ renkei@komai-hp.com

代表電話
よりも早い!

■ 基本理念

やさしさに出会う医療を
やすらぎに出会う医療を
そして
生きがいに出会う医療を

■ 基本方針

1. 私たちは、人間の尊厳を大切にし、患者様の立場に立った、信頼を得る医療を提供します。
2. 私たちは、高齢者医療専門機関として、誠実で安心な医療・看護・介護サービスを実践します。
3. 私たちは、社会人としての倫理観を持ち、医療の質向上のため研鑽を積み、地域や組織に貢献します。
4. 私たちは、地域の人々の支えとなる慢性期医療機関としての役割を実践し、地域包括ケアシステムの一翼を担います。